

「 祝いが “地域の暮らし” とつながる 」

結婚という人生イベントをきっかけに
人と地域が永く循環的に結び直される状態

それが、いい。
それで、いいんだ。

IINDA

— THE NEW LOCAL STANDARD —

結婚式場じゃない選択肢が 見つかる・選べるプラットフォーム

〈場所〉〈人材〉〈情報〉を結節し
誰でも・どこでも“地域で祝える”環境を整える

それが、いい。
それで、いいんだ。

IINDA

— THE NEW LOCAL STANDARD —

結婚式場産業の現状

視点	要素	内容
マクロ視点	社会・経済の変化	- 少子高齢化- 婚姻数 50万組を下回る(2024年) - 物価高・人材不足・賃上げ
ミドル視点	結婚式の価値観	- なし婚 21.4% - 招待者人数の平均 52人(ゼクシィ調査 2023)
ミクロ視点	ビジネスモデル	- 人的リソースを全て抱える「装置産業」モデル - 常に固定費が発生し、閑散期や需要減少時に経営を圧迫
ミクロ視点	コロナ融資の返済	- ゼロゼロ融資の返済開始(2023年7月～) - 短期借入返済

市場はピークの8割に減少

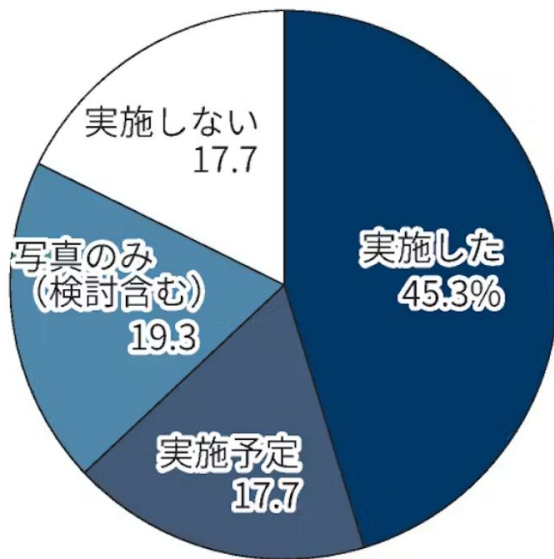
3割が赤字、6割が業績悪化

式場破綻も続出

次ページ以降に、より細かい情報を記載



結婚式の実施率



55%

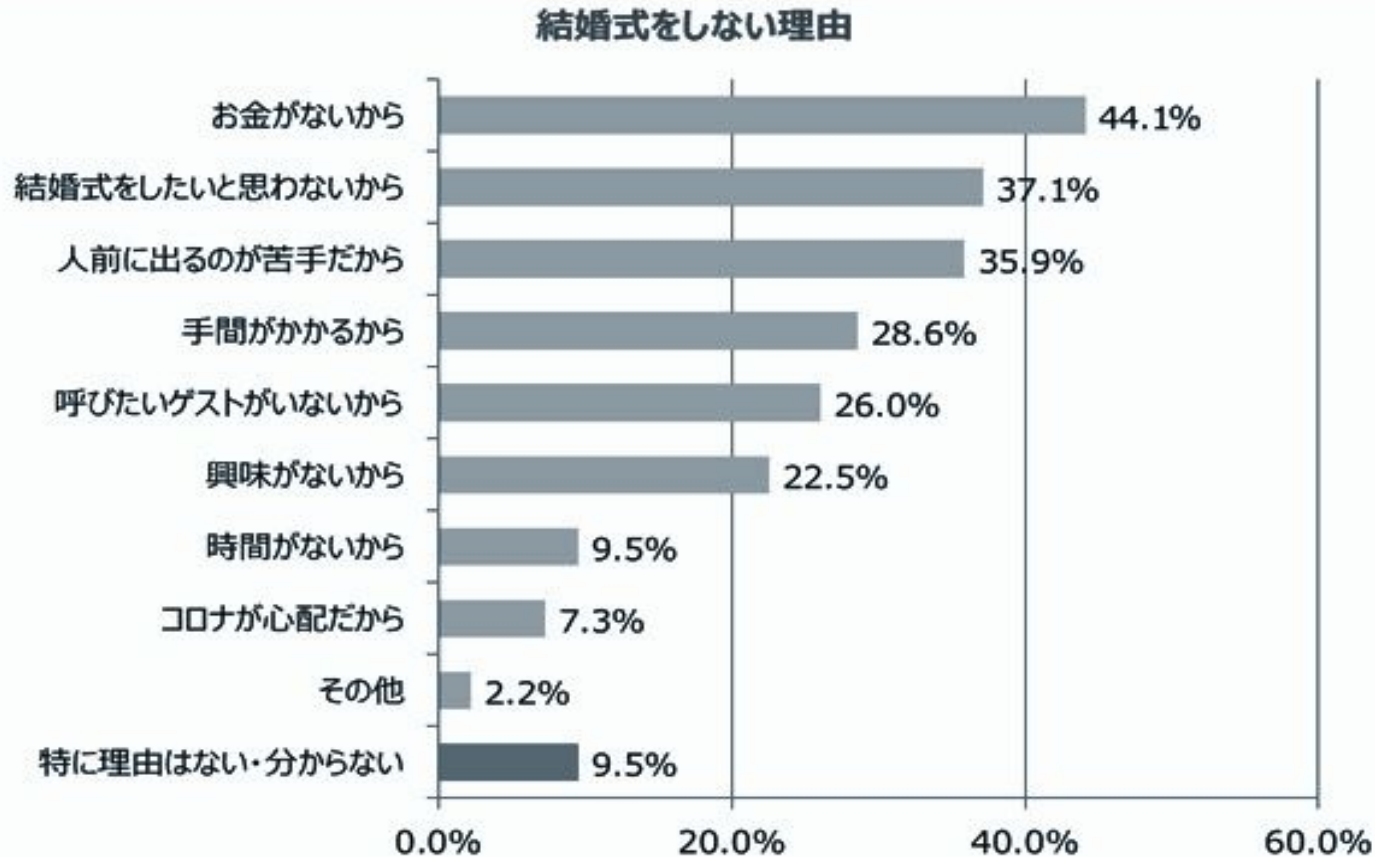
261,000 組

※全国の直近婚姻届数
47.5万人からの計算です

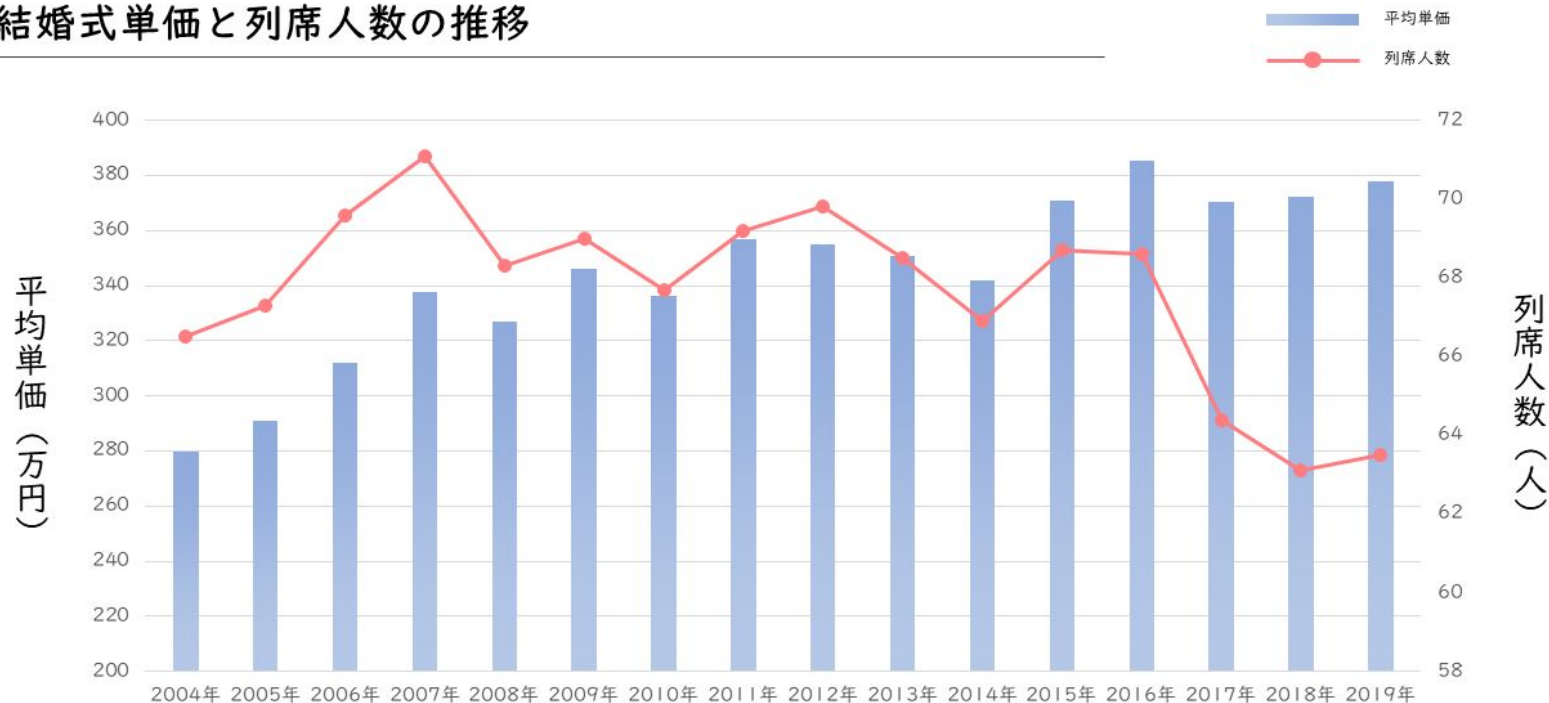
45%

213,000 組

(出所) マイナビ



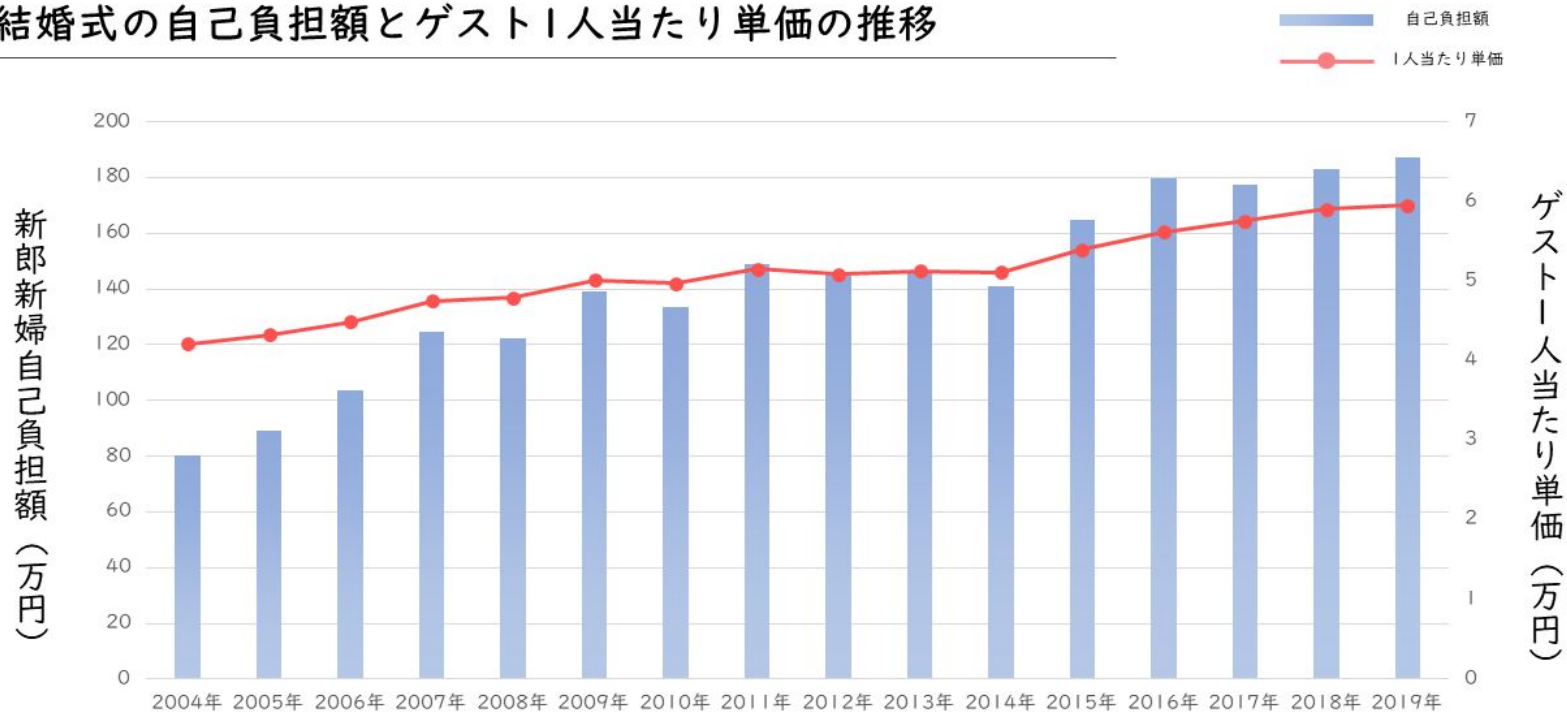
結婚式単価と列席人数の推移



※ (出典) ゼクシィ結婚トレンド調査、首都圏の数値からグラフを独自作成

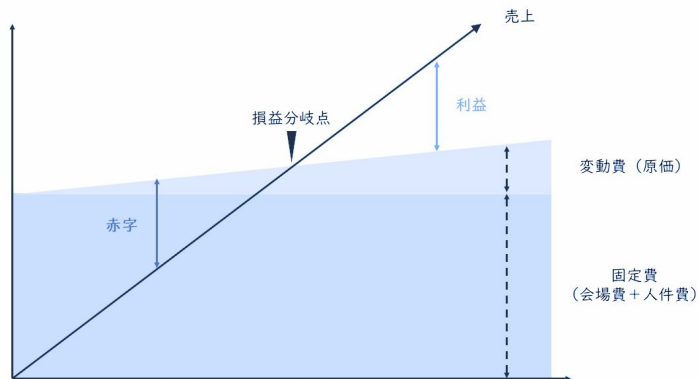
年々参列人数は減少だが、平均単価は上昇。

結婚式の自己負担額とゲスト1人当たり単価の推移



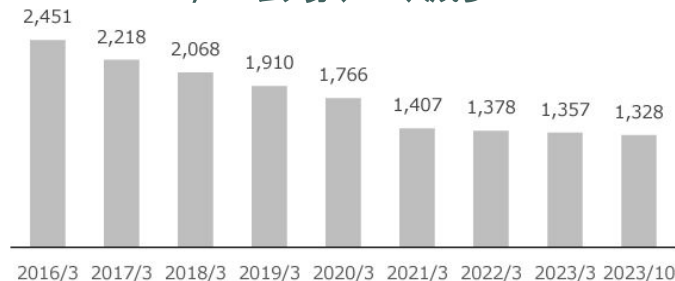
※(出典)ゼクシィ結婚トレンド調査、首都圏の数値からグラフを独自作成
※ご祝儀金額を1人3万円として自己負担額を計算

ウエディング業界の ビジネスモデルの **限界**

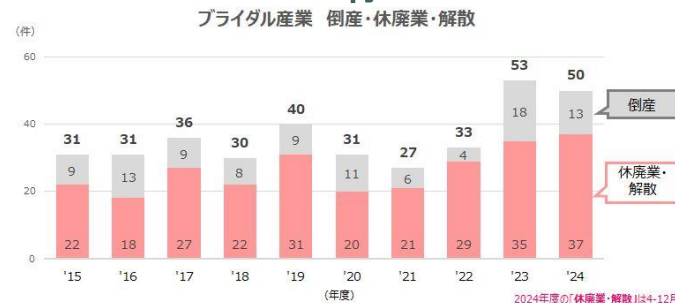


大型式場は週末限定の稼働では採算が合わず、多額の固定費が足かせになっている。

結婚式場情報誌の掲載数も全国で 1,123会場(45%)減少



全国で **事業撤退が過去最多ペース** で進 行



ウエラ

ビジネスモデルの

撤退＝地元の結婚式場が少なくなる

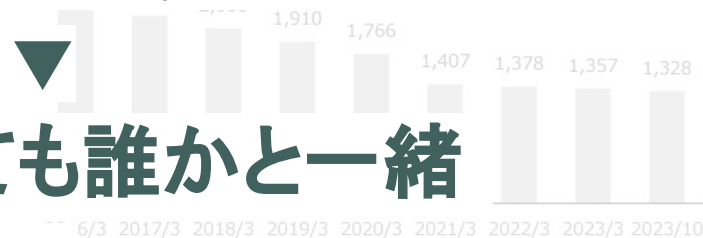
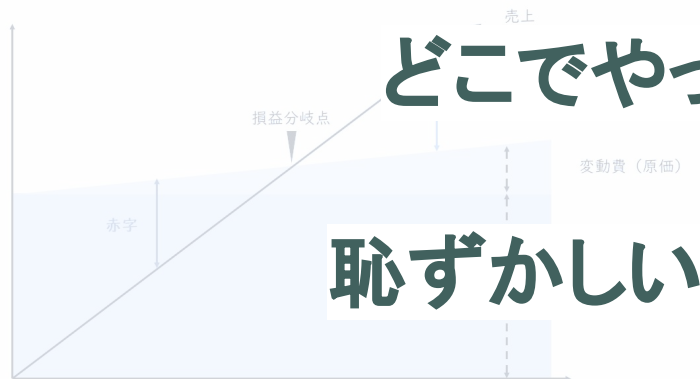
結婚式場情報誌の掲載数も全国で

どこでやっても誰かと一緒

恥ずかしい・つまらない・高い

「やらない」選択が加速

大型式場/
算が合わず



(年度)

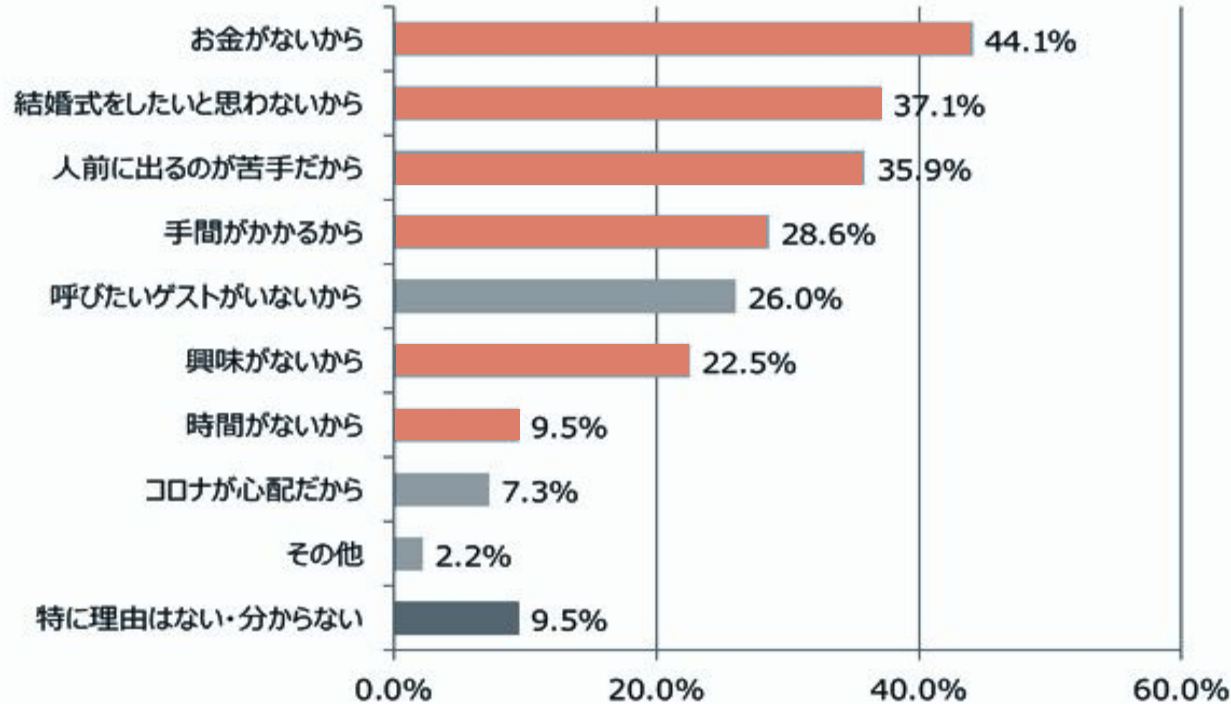
2024年度①/休業業・解散/84-12月

東京商工リサーチ調べ



カップルが感じる3つの課題

結婚式をしない理由



- ▶
- ①費用
 - ②気持ち
 - ③時間

結婚式の**本質**とは…

「おめでとう」と「ありがとう」
を伝え合うために【**集まること**】

結婚式場である **必要**はない。

解決策

①費用

②気持ち

③時間

高い固定費・人件費
(式場のビジネスモデル)

ブライダル業界の慣例
(既得権益や情弱搾取)

結婚式ならではの演出
(固定観念・文化)

結婚式場

じゃない

選択肢。

従来の結婚式じゃない
選択肢が必要

「結婚式場じゃない選択肢が 見つかる、選べる。」が Conceptのプラットフォーム

ムリがない選択肢が
あってもいいんだ

scroll down



[/WEBサイト](#)

[/Instagram](#)

Selection

条件別で施設を探す 



NEW : Orchardレストランまつかわ →



NEW : ao LAKESIDE CAFE →



NEW : AZUMINO36STAY →

Restaurant 溪

レストラン ケイ

【信州のおもてなしを大切な人たちに】

食だけでなく、お皿から空間、文化までが全て信州で統一。

お客様とお店の関係ではなく、お客様と生産者の橋渡しを行うレストラン。

信州を旅するおもてなしを。

#東信 #レストラン #ホテル #少人数 #フレンチ



公式HP



Instagram



IINDA編集チームからのおすすめポイント

1. 庄巻の信州フレンチ
2. お皿から家具まですべて信州のおもてなし
3. 鹿教湯温泉のロケーションが素敵です

施設詳細

人 数：着席 最大25名

宿 泊：○ (1人夕食込 2万円)

新 2025年夏 エリアが追加予定

第1弾

IINDA

中国地方

第2弾

IINDA

四国地方

第3弾

現在調整中

7月上旬プレスリリース予定

なぜ必要なのか？今後考えられる展開から紐解く

【セルフプロデュース時代】そんな時代が訪れたときにINDAが双方の助けになりたい

自分たちでパーティー
が出来たら良いよね！



カップル

INDAが
ない場合

✓
カップル自ら
場所探しが必要に



しかし、施設様によって事情は様々
さらに100組100通りの要望が…

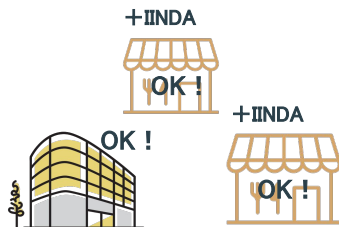


カップルは場所探しや
交渉などが手間に…
トラブルも多発

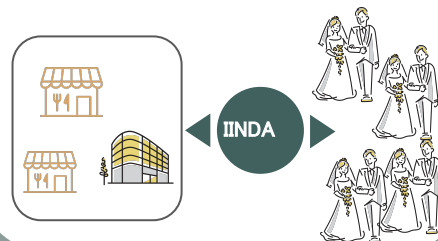


INDAが
ある場合

普通ならNGの施設も
INDAが加わる事で
選択可能になることもある



事前に情報を整え
可能施設が全て掲載
施設側も窓口がひとつに



簡単に良い場所
が見つかる
スムーズに進む





お祝い
Party



地域
Place



再訪
Repeat

まるで、このまちに
住んでいるような体験。

結婚式を一大消費イベント(点)
で終わらせるのではなく
まちとのつながり(接点)へと役割を変える。

そこから、まちのリピーターを生み出します。

それが、いい。
それで、いいんだ。

IINDA

— THE NEW LOCAL STANDARD —

ムリがない選択肢が
あっても、いいんだ。

結婚式場じゃない選択肢が
見つかる、選べる。
結婚式のように、ちょっと違う。
まち暮らし体験のような選択肢。